

第2分科会第4回 意見一覧（2020年7月17日）

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
1	産業分野 政策2（目指す姿1） 現状と課題	新型コロナウイルス関連の影響は、今後変わるかもしれない。内容が古くならないよう、表現に幅を持たせた方がよいのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> 「現状と課題」については、実際の影響や事例を踏まえた具体的な表現とし、「方向性」については、幅を持たせた表現とするよう整理していきたい。 答申は予定どおり、審議会第3回全体会（8/31）でいただく予定であるが、「背景」や「現状と課題」については、答申以降においても、状況に応じて最新の内容を反映させていきたいと考えており、ご了承いただきたい。
2	産業分野 政策2（目指す姿1） 現状と課題	技術の伝承は多分に感覚的なものである。現場で感覚を伝えるところとオンラインで伝えるところとのつなぎ合わせをどう考えるか。	<ul style="list-style-type: none"> 技術の伝承については、方向性（後継者育成と事業継続力の強化）の1つの要素として整理している。 新型コロナウイルスの感染拡大時のように、人と人との接触が制限される状況下では、委員のご意見のとおり、状況に応じて対面とオンラインを組み合わせた方法によるしかないと考えている。
3	産業分野 政策2（目指す姿1） 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言下においては、大学の授業はWEBでしかできないようにした。受講環境が不十分な学生に配慮しながら、学生全員の受講環境を整えてオンライン授業を始めたが、実験、実習、フィールドワークはオンラインではできない。 オンラインは知識を得るという意味では効果があり、良い面もあるので、良い面を組み合わせ、対面授業とオンライン授業をハイブリッド的にやるしかないと考えている。 基本は対面でやらないと学習効果が上がらない。企業においても同様であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 技術の伝承については、方向性（後継者育成と事業継続力の強化）の1つの要素として整理している。 新型コロナウイルスの感染拡大時のように、人と人との接触が制限される状況下では、委員のご意見のとおり、状況に応じて対面とオンラインを組み合わせた方法によるしかないと考えている。

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
4	産業分野 政策2（目指す姿1） 方向性ア・エ	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大により、人々の価値観が変わってきており、今後コロナ禍以前の状態に戻るかは疑問。テレワークによって効率的にできる部分もあるが、現場仕事とテレワークのハイブリッドになるのではないか。また、テレワークが広まれば東京や大阪に出ずに姫路でも働くことができるようになる。 ・産業も重厚長大の基幹産業は大事にしないといけないが、アントレプレナー（起業家）を受け入れるような方向性が必要。福岡県の人口が増えている理由は、そういう人材を受け入れる雰囲気があるということが背景にあるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークを含むICTを活用した働き方改革については、方向性ア（多様な人材が活躍できる労働環境づくり）で整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。 ・重厚長大産業だけでなく、地域全体で国際競争力を獲得する必要性については、「現状と課題」の1点目で、また、起業家の受入については、創業にチャレンジしやすい環境づくりとして、方向性エ（企業集積の推進と創業支援）の2点目で整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。
5	産業分野 政策2（目指す姿1） 方向性エ	<p>企業誘致に関し、企業側は災害リスクを意識している。市は災害に強いといった強みを生かして、用地を確保していくことを方向性とすればよいのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の少なさも含め、企業ニーズは様々であるため、方向性エ（企業集積の推進と創業支援）で、「企業ニーズを踏まえた様々な視点からの工場適地の創出」について整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。 ・実際の誘致活動の中で、災害の少なさを市の優位性の一つとしてアピールすることについては、具体の施策・事業において継続して取り組んでいく。

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
6	産業分野 政策2（目指す姿1） 方向性	新型コロナウイルスへの対応は書かなければならないが、コロナ禍の前から先を見据えて取り組んできたものもある。コロナ禍に関わらずやり遂げなければならない方向性と、コロナ禍によって変えていかなければいけない方向性が分かるような書き方にした方がいいのではないか。例えば、少子高齢化対策や、働き方改革については以前から当然に取り組むべきことだった。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間が10年の基本構想の中で、コロナ禍への対応とそれ以外を個別に書き分けるのは難しいと考えている。お示しした原案のとおり、コロナ禍への対応を含め、非常時も見据えた企業の事業継続力や地域全体での国際競争力の強化の観点を入れた大きな方向性として整理している。 ・基本構想を踏まえて策定する実施計画は、毎年度改定する予定であり、コロナ禍への新たな対応などは、実施計画に反映させていく。
7	産業分野 政策2（目指す姿1） 方向性エ	ポストコロナは先が見えないので、どこまで動きが出るか分からないが、サプライチェーンの国内回帰ということも起こってくるかもしれない。ただし、市は工場用地が満杯で、工業用水の問題もある。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響によるサプライチェーンの国内回帰の可能性については認識しており、方向性エ（企業集積の推進と創業支援）や方向性カ（事業継続力の強化に向けた支援）に含めて整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。 ・工場適地の創出については、具体の施策・事業において継続して取り組んでいく。
8	産業分野 政策2（目指す姿1） 方向性キ	播磨臨海道路について記載があるが、臨港道路についても要望活動を行っているので、セットで記載していただきたい。	ご意見のとおり、方向性キ（物流・交流機能の充実）に「臨港道路」を追記する。
9	産業分野 政策2（目指す姿1） 方向性キ	総合計画は10年の計画なので、道路のことは入れるべきである。	

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
10	産業分野 政策2（目指す姿2） 目指す姿	まちなかの賑わいと活気を、どのように市全体の活力に波及させるのかが見えにくい。「現状と課題」や「方向性」が、まちなかに特化した記述になっている。	ご意見を踏まえ、「現状と課題」に本市の中心市街地に期待される役割を追記する。
11	産業分野 政策2（目指す姿2） 現状と課題	市全体への波及効果をもう少し分かるように表現したほうがいい。現状と課題の中に、関連する課題などを入れることで、中心部を活性化させれば市全体に効果が広がることを表せるのではないか。	
12	産業分野 政策2（目指す姿2） 関連データ	・関連するデータでは、市民アンケートの結果として、中心市街地に対する不満が並べられているが、空き店舗数などは他都市と比べてもそこまで状況は悪くなく、ミスリードする恐れがあるのではないか。また、魅力的な店舗が無いならどうやって呼んでくるのか、ということを説明する必要がある。	当該関連データは、市民アンケートに基づく市の課題認識を表すものとして掲載しており、方向性を導き出すために必要であると考えている。また、課題に対応するため、魅力ある店舗や空間づくりに向けた人材育成や仕組みづくりなどについて、方向性ク・ケで整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。
13	観光・スポーツ分野 分野目標	新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、背景の文言の書き方が難しいのではないか。	答申は予定どおり、審議会第3回全体会（8/31）でいただく予定であるが、「背景」や「現状と課題」については、答申以降においても、状況に応じて最新の内容を反映させていきたいと考えており、ご了承いただきたい。
14	観光・スポーツ分野 分野目標	スポーツ関連の背景について、2点目の表現はそのままにするのか。	

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
15	観光・スポーツ分野 政策1 方向性イ	播磨地域との連携については、方向性イの活力づくりで整理されているが、「コンテンツ」というよりも「体制」という意味で、土台づくりで整理すべきではないか。	回遊性の向上を図るためには、広域連携によるコンテンツづくりも必要なため、方向性イ（観光コンテンツの充実）は原案のとおりとしつつ、広域連携を支える体制については方向性カ（戦略的・継続的な観光地づくり）に追記する。
16	観光・スポーツ分野 政策1 方向性エ	方向性エのコンベンション都市に関して、MICEが終わった後の観光についても積極的に書けばいいのではないか。	MICEの機会をアフターコンベンションなど関連する観光需要につなげていくことは、MICE誘致の目的の1つであるので、方向性エ（コンベンション都市の実現）にその要素を追記する。
17	観光・スポーツ分野 政策1 方向性イ・エ	<ul style="list-style-type: none"> ・商工業のところではモノづくりによるブランド化について記述があるが、観光分野ではない。地域のブランド、観光だけでなく商工業・農業と連携したブランド化が必要ではないか。 ・商工業と農業とのコラボレーションによる製品開発、招へい旅行で体験してもらうことを通じて、ビジネス旅行が発生する。ビジネスで訪れてレジャーもする「ブレジャー」が海外では認知されている。 ・産業の枠を越えたコラボレーションを観光に活かす、ということをごどこかに付け加えていただきたい。 	ご意見を踏まえ、観光分野においても、産業分野の農林水産業関連や商工業関連と同様に、業種・分野・地域の枠を越えた連携によるブランド化について、方向性イ（観光コンテンツの充実）に、MICEの開催などビジネスイベントを契機とした観光需要の喚起について、方向性エ（コンベンション都市の実現）に追記する。

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
18	観光・スポーツ分野 政策2 方向性イ	「地域づくり」に関して、方向性の内容は何ら問題ないが、地域スポーツでメインに動く団体はどこになるか。	「地域づくり」としては、競技団体や教育機関、行政が連携して各地域のスポーツクラブを育成・運営支援することを通じ、地域スポーツを振興することを、方向性として整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。
19	観光・スポーツ分野 政策2 方向性ア	地元の大学の協力をいただきたい。素晴らしい大学があるのだから、連携できればと思う。	「人づくり」として、科学的なアプローチを取り入れた指導を行う指導者の育成などについて、大学等との連携・協力を方向性として追記する。
20	観光・スポーツ分野 政策2 方向性ア	兵庫県立大は健康スポーツに力を入れている。高齢者の健康維持という観点でのスポーツは重要だと思っている。協力もできるので方向性に書き込んでほしい。	
21	観光・スポーツ分野 政策2 方向性ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツの対象には、小中学生は含まれるのか。 ・参考資料の「想定される取組」に記載のある、「部活動の振興」はぜひお願いしたい。現場は外部指導者に来て欲しいと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象としたスポーツの振興は、主に方向性ウ（スポーツを楽しむ機会の創出）で整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。 ・部活動の振興や、外部人材の活用については、教育分野の施策・事業として継続して取り組んでいく。

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
22	観光・スポーツ分野 政策2 方向性オ・カ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが盛んなまちは生き生きしている。原案の方向性は、非常によい。 ・長期的なスポーツ振興には、ソフト・ハード両方が必要。ソフト面ではトップスポーツ選手との触れ合いが重要であり、市には女子サッカー、バレーがある。また、ハード面では手柄山のアリーナに期待している。 ・可能であれば海外に視察に行き、アリーナの施設と運営を学んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トップスポーツチームへの支援については方向性オ（スポーツ資源を活かしたまちの賑わいづくり）で、アリーナ整備については方向性カ（「感動」を与える環境づくり）で整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。 ・その他いただいたご意見は、具体の施策・事業において参考とする。
23	観光・スポーツ分野 政策2 方向性ウ	方向性・ウの2点目で、「子どもや親子、高齢者、女性」とあるが、仕事をしている男性もスポーツに取り組む必要があるので、そうした人も含めたほうがいい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえ、方向性ウ（スポーツを楽しむ機会の創出）の例示に「働く人」を追記する。 ・その他、働く人を対象としたスポーツの振興については、企業・団体に期待することとして、「働く人が気軽にスポーツができる環境を整える」ことを整理している。また、企業・団体の取組の支援について、方向性ウ（スポーツを楽しむ機会の創出）で整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。
24	観光・スポーツ分野 政策2 方向性ウ	働き方改革の流れで、働く男性ももっとスポーツをとということがあっても良い。	スポーツ人口を増やすため、方向性ウでスポーツする機会の創出について、方向性エで身近にスポーツする場所の確保について整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。
25	観光・スポーツ分野 政策2 方向性ウ・エ	スポーツ人口を増やすという視点が必要。現状、スポーツするにも場所を借りないといけないことが多いので、安全にスポーツする場所を増やすことが大事。	スポーツ人口を増やすため、方向性ウでスポーツする機会の創出について、方向性エで身近にスポーツする場所の確保について整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
26	観光・スポーツ分野 政策2 方向性	健康で長生き、という視点はあるか。キーワードとして必要かと思う。スポーツをなぜ振興するかと言うと、そういうことが目的だと思う。	スポーツ分野の政策1全体として、「健やかで充実した余暇を過ごす」ことを目指す姿に設定し、その実現に向けた方向性を整理している。また、健康寿命を伸ばしていくことについては、健康福祉分野の政策においても整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。
27	観光・スポーツ分野 政策2 市民、地域コミュニティ・企業、団体に期待すること	市民等に期待することとして、「地元のトップチームを応援しよう」というのを付け加えたらどうか。	ご意見を踏まえ、市民に期待することに追記する。
28	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の審議会でもいただいた意見は、市の中だけでは得られない情報である。新しい総合計画において、分科会の意見をその時代の意見として一つ一つ整合させる必要がある。 ・ 市議会にとっても、市民にとっても変わり映えしないものは、変更してもらいたい。短期的にも長期的にも実のある、結果のある計画にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい総合計画では、審議会や市民広聴によりいただいた多様な意見をもとに、時代の潮流を的確に捉えて、中長期的な展望を新たに描きたいと考えている。 ・ 計画を効果的かつ着実に推進するため、適切な進行管理ができる計画としたい。

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
(参考) 他の分科会(第4回)での意見			
1	都市基盤分野	<p>公共交通利用者は微増傾向とあるが、コロナ禍の影響を受けバス利用者は、コロナ禍前の約8割の水準までしか回復していない。コロナによる影響は第2分野の産業分野で示されるという説明があったが、そこで交通業界の現状も示してもらいたい。</p> <p>(事業者の状況)</p> <p>事業者はコロナ禍においても社会・経済活動、住民生活を守るため、運行を継続してきたが、収支が厳しく危機的状況に陥っている。</p>	<p>コロナ禍の影響は経済活動全般に及んでいることから、<u>産業分野</u>の分野目標「背景」において、交通事業者を含め事業者を限定せず、「新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大に伴い、ヒトやモノの移動が制限されたことにより経済活動が極端に停滞し、企業の事業継続や雇用に深刻な影響が出ています。」として整理することとしている。</p>
2	都市基盤分野	<p>手柄山中央公園から姫路駅、姫路城ならパーク&サイクルライドの基点として公園を利用し、自転車移動もよいのではないか。</p>	<p>・姫路駅、姫路城に加え、手柄山中央公園にもコミュニティサイクル「姫ちゃり」のステーションを設け、パーク&サイクルライドの基点として活用しており、継続して取り組んでいきたい。</p>
3	都市基盤分野	<p>手柄山中央公園にはたくさんの駐車場がある。文化センターが移転するとさらに駐車場の空きが増えると思う。</p> <p>せっかく安くて広い駐車場があり、新駅も設置されるのだから、手柄山中央公園を基点とした周遊バス(公園～姫路駅～姫路城)等を運行すればよいのではないか。</p>	<p>・また、ご意見のとおり、「観光客の回遊性の向上」は重要な要素であるため、<u>観光・スポーツ分野</u>において整理しており、継続して取り組んでいきたい。</p>